

(令和3年7月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

研 究

開発農地に適するニンジンの品種および栽培技術の検討

丹後地域では、開発農地を中心にキャベツ等のアブラナ科野菜の加工契約生産が推進されており、その結果、根こぶ病の多発等、連作障害が問題となっています。そこで当所では、アブラナ科以外の品目としてニンジンを取り上げ、収量性、秀品率などを調査し、品種の検討を行うとともに、被覆栽培による抽苔の抑制など、開発農地に適した栽培方法の検討を行っています。

今回は、収穫調査を実施し、収穫したニンジンを生産部会の会員に見ていただき、研究の進捗状況を報告しました。

今後も定期的に生産者部会へ研究結果を報告し、生産現場と一体となって開発農地に適したニンジンの品種、栽培方法を検討します。



収穫調査を実施



出荷目合わせ会にて研究状況報告

農林センター（丹後農業研究所）